

# 令和4年度 モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT



開始までお待ちください。

- Zoomの設定のお願い
  - カメラオン
  - お名前:「会社名\_\_お名前」

第4回2023年2月13日

## オンライン会議

オンラインで進めるにあたり、以下について設定をお願いいたします

- 名前の表示
  - 「貴社（団体）名 お名前」としてください。（例：千葉市 鈴木）
- 会議中のカメラは常時オン、マイクは発言時のみオンとしてください。
- 発言は自由となります。適宜ご発言をお願いいたします。
  - 『チャット』や『手を挙げる』機能を活用いただいても構いません。
- 録音・録画、画面の撮影は厳禁でお願いいたします。
  - 発表資料に非公開情報が含まれます。



# 令和4年度 モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT

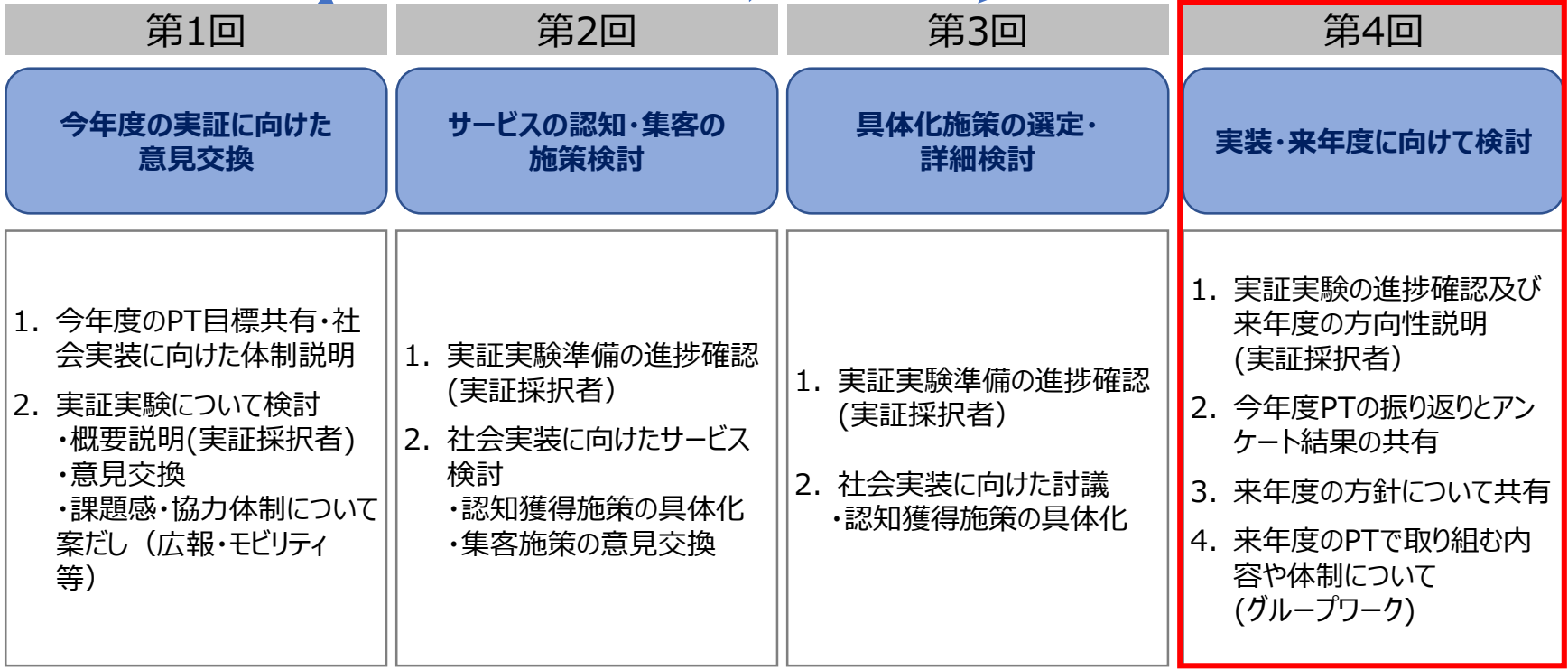


第4回2023年2月13日

## PT全体の予定

全4回を通じて、MaaSの今年度の実証実験と、社会実装に向けたサービス検討・連携を深めます

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
マイルストーン			WG #1		PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項				MaaS 実証公募									MaaS 実証実験



## 本日の目的とアジェンダ

本日は今年度MaaS実証実験についての進捗共有等と来年度のPTで取り組む内容や体制について検討します

### 目的

1. 今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有
2. アンケート結果と来年度の方針の基つき、来年度のPTで取り組む内容や体制について検討

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

## イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです

### PT参加団体名（順不同）

小田急電鉄株式会社

イオンモール株式会社

株式会社NTTドコモ千葉支店

株式会社千葉ステーションビル

損害保険ジャパン株式会社

公益社団法人千葉市観光協会

京成電鉄株式会社

長谷川工業株式会社

シャープ株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社JTBコミュニケーションデザイン

MONET Technologies株式会社

### 本日も欠席団体名（順不同）

株式会社建設技術研究所

京成バス株式会社

久留米工業大学

公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー

株式会社日立製作所千葉支店

一般社団法人千葉県タクシー協会

株式会社幕張メッセ

東京海上日動火災保険株式会社

株式会社ヴァル研究所

三ツ矢エミタタクシーHD株式会社

## 今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について

次に、今年度MaaS実証実験についての進捗と来年度の方向性について共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

# 実証実験 進捗共有 及び 来年度 方向性 (仮)

株式会社NTTドコモ

2023年2月13日  
第4回MaaSプラットフォームPT



## 今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について

続いて、質疑応答を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

## 来年度のPTで取り組む内容や体制について

次に、今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

## 今年度PTの振り返り

第1回、第2回PTでのアジェンダや検討内容は以下の通り

### 第1回PT（8月29日実施）

### 第2回PT（10月19日実施）

#### アジェンダ

1. 今年度のPT目標共有・社会実装に向けた体制説明  
MaaSの実証実験や社会実装に向けた検討や練上げ・実装後のサービス拡張に向けた検討
2. 実証実験について検討
  - 昨年度・今年度の実証実験について報告
  - 今年度の実証実験における課題の共有
  - 昨年度実施した移動実態調査から、住民・来訪者の実態の共有
  - グループワーク：課題ごと（認知獲得、目的想起、モビリティ連携）に、解決策・協力体制検討

これまでの実証から見た課題に対する施策を検討

1. 実証実験準備の進捗確認
2. 社会実装に向けた認知獲得施策の検討
  - グループワーク：施策の具体化、施策実行の体制検討
3. MaaSを活用した集客施策の検討
  - グループワーク：MaaSを活用した集客施策の実現性の検討（集客課題、データ共有のメリット、課題）
  - グループワーク：MaaSへの自社参画の可能性の検討、MaaSを活用した集客施策のアイデア出し

来訪者等にMaaSを認知して頂くことが必要であり、また、他施策と比べて各社が連携可能な領域と考えられるため、認知獲得施策を軸に検討

#### 主な検討内容

- 認知獲得施策（住民・来訪者）
  - リアルタイムのイベント、主要施設以外の観光資源情報
  - アナログなチラシや広告、SNS活用、地域団体/企業との連携、来訪前に認知してもらう施策
- 目的想起の施策
  - 来訪者の目的に合わせた情報提供、混雑状況/移動手段の情報提供、クーポン等の仕掛け
- モビリティ連携施策
  - 複数モビリティを横断利用できるようにする乗車券や利用料金の設計、大規模イベント時に利用してもらえる工夫

- MaaSの認知獲得施策の検討
  - 街全体で連携しモニターや風船などを活用した案内
  - ドコモショップ、その他商業店舗にQRコードを置き案内
  - イオンアプリ、決算アプリ等と連携したMaaS案内施策
  - イベント主催者にとってのメリットを打ち出す、思い出作りになるキャンペーンを実施する等
- MaaSを活用した集客施策の検討
  - 商業施設にとって、立ち寄り経路、リピーター、顧客属性がわかることは有効
  - 施設内の人流やモビリティ・駐車場データと連携できると良いがデータ連携が課題

## 今年度PTの振り返り

2回のPTを通しての検討の成果、今後の課題や要対応事項は以下の通り

### これまでの検討の成果

#### ■ MaaS機能の検討

- 提供情報の内容、モビリティ連携の検討
  - ・ コンソーシアム内外の施設と連携し、リアルタイムのイベント、主要施設以外の観光資源の情報収集
  - ・ 複数モビリティを横断利用できるようにする設計の必要性
  - ・ 混雑状況/移動手段の情報提供、クーポン等の仕掛け
  - ・ 来訪者の目的に合わせたMaaS機能のブラッシュアップ

#### ■ 認知獲得施策の検討（住民・来訪者）

- 実現可能な認知獲得施策の内容の検討
  - ・ アナログなチラシや広告、SNS活用施策
- 実現に向けた体制の検討

#### ■ MaaSを活用した集客施策の実現性の検討

- 認知獲得施策の内容検討
  - ・ 街全体で連携しモニター等活用したアナログな案内施策
  - ・ 施観光や店舗等と連携したMaaS案内施策
  - ・ 既存コンテンツ（アプリ等）を活用したMaaS案内施策
  - ・ 大型イベント連動のMaaS案内施策
- データ共有に向けた体制の検討
  - ・ データ共有やビーコン設置等は概ね前向き
  - ・ ビジネスモデルやデータ共有・連携方法については課題感もある

### 今後の課題・要対応事項

#### ■ 来年度実装に向けた認知獲得施策の具体化

- 体制構築と計画策定
  - ・ 施策ごとに社会実装に向けた座組を決定
  - ・ 実証に向けた具体的な計画策定

第3回PT  
取組内容

#### ■ MaaS実証実験に向けた実行体制の構築

- 集客施策の実現に向けた体制構築と計画策定
  - ・ 社会実装に向けた座組や先進事例
  - ・ 実証に向けた具体的な計画策定

#### ■ MaaSの社会実装に向けた長期的計画の検討

- 来年度以降の実装に向けて課題や施策を検討
  - ・ 最終的な社会実装の目標の検討
  - ・ 商業施設、モビリティ、地域情報等との連携体制の検討
  - ・ 住民ニーズの把握等

- ・ 第3回PTでは「認知獲得施策」の更なる具体化・練上げを目標に、各社が取り組みたい内容を共有
- ・ 併せて他の分野で取り組みたい内容も共有

## 今年度PTの振り返り

これまでMaaS認知の獲得に向けて、A~Dの4つの施策案について検討してきました

	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	B:観光や店舗等と連携したMaaS案内	C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内	D:イベント連動のMaaS案内
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日頃から住民や就業者、就学者が訪れるような施設・金融機関・事業所のモニター等に<b>アナログの広告</b>を行う</li> <li>■ 万人が目にする看板や大型ビジョン、バス広告ラッピングなどに注力する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンパクトシティとして各種機能が集積していることを活かし、<b>観光協会や商業施設とのより深い連携し</b>広報を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カーシェア会員が訪問先でカーシェアを利用するように、当日会員になる人は少ない。また、エリア外会員⇒認知⇒利用までを一気に高めるのは難しい</li> <li>■ <b>来訪前に認知を高めておく、もしくは他サービスとのコンテンツのバンドル化</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>幕張メッセ等大型イベントの来場者に対して、MaaSの取組みを認知していただくための周知・広告</b></li> <li>■ イベントと連動した取組み（例 スタンプラリー）を実施することでMaaSのインストール・利用を促す</li> </ul>
利用イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前を歩いたり、交差点で立ち止まったり、銀行等で待っていたりするときにMaaSの案内に気づき、MaaSを利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光協会や商業施設と、MaaSの相互連携でMaaSを知り、利用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幕張新都心で多く利用されているコンテンツ（例 イオンモールアプリ）からMaaSを知り、利用開始</li> <li>■ 幕張新都心の定番コンテンツと非定番コンテンツを繋いだり、ついで買い需要にアプローチが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幕張メッセ来訪を機にMaaSを認知し、利用開始</li> <li>■ 幕張メッセを軸とした主要スポット(商業施設・飲食店・娯楽施設)で発行した電子スタンプを集めると景品が貰える等の仕組みを作ること、多くの来訪者にMaaSを利用頂く</li> </ul>
認知方法案	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前や駅構内、バス広告、サイネージ、大型ビジョン、金融機関等でMaaSを案内</li> <li>■ 日常的に何度も案内を見ることでMaaSを浸透させる</li> <li>■ 動画配信することでMaaSのイメージを理解してもらう、操作方法なども体感してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光協会や商業施設が発行する書類や管理するサイト、各施設や各種イベントなどで、MaaSを案内</li> <li>■ 商業施設等の情報もMaaSで案内する、クーポンなどの特典をつけたり、モビリティとの連携も検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄道の車内等で幕張新都心に来訪する前からMaaSの存在を案内・認知、定番コンテンツからもMaaSを案内</li> <li>■ MaaSからもコンテンツを案内することで双方向で価値を高める等の工夫も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幕張メッセ(大型ビジョンへの掲載や、壁面・柱、駅から施設までの導線)での周知・広告をはじめ、駅・公共交通機関の車内広告、商業施設、宿泊施設を中心にアナログ・HP・SNS等を活用してMaaSを案内</li> </ul>

## 今年度PTの振り返り

施策案Aに関するこれまでの検討結果は以下の通り

### A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内～MaaS案内を何度も見ることでの利用のハードル緩和～

第1回PTでの検討		第2回PTでの検討		第3回PTでの検討		
<b>施策内容</b>  <b>利用イメージ</b>  <b>認知方法案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日頃から住民や就業者、就学者が訪れるような施設・金融機関・事業所のモニター等にアナログの広告を行う</li> <li>■ 万人が目にする看板や大型ビジョン、バス広告ラッピングなどに注力する</li> </ul>	<b>発信対象</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学生や鉄道・バス利用者、イベント来訪者、ホテル宿泊者等</li> <li>■ 幕張新都心に来訪する頻度が高い近隣住民や就業者、来訪者(10代～50代)</li> </ul>	<b>発信内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「MaaSをダウンロードするとお得だ」という内容や、MaaSアプリでできることがわかる内容といった、街の移動自体を楽しめるような取り組みやメッセージ</li> <li>■ 幕張新都心で「生活・通勤・通学」するのにMaaSの利用がおすすめという内容</li> </ul>	<b>発信方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人が目にする可能性のあるあらゆる時間帯に発信</li> <li>■ キャラクター・風船・うちわ・ティッシュ・ホッカイロを活用しての発信</li> <li>■ バスラッピング広告。しかし、バスラッピングはティッシュなどと比べてコストがかかる</li> <li>■ 年配の方にも伝わりやすい市政だよりなどの郵便物による発信</li> <li>■ 駅構内ポスター、電車・バス内広告、バス停、交差点周辺の看板、飲食店等の看板、サイネージ、駅前モニター、信用金庫や銀行モニターなどでの発信</li> <li>■ 社会実装前後のタイミングで、まずは鉄道やバスで来訪される方を中心に宣伝していき、インストールした人がさらに周囲に伝えて徐々に利用拡大を目指す</li> <li>■ イベント主催者に協力を仰ぎ、MaaSアプリを事前にDLしてもらえらる仕組みを構築する 例えば学会等のコンベンション開催時にブースを設置し、観光チラシを配布する等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅構内ポスターやチラシ、異常時案内用ディスプレイ、SNS、アプリを使った案内</li> <li>■ 駅構内、柱巻き広告、中づり広告、公式Twitterでの案内</li> <li>■ キックボード車両への広告掲載や会員にLINEでメッセージ配信</li> <li>■ ステーションの看板やチラシでのMaaS案内</li> <li>■ デジタルサイネージでの案内(交通系事業で実績あり)。要望に応じてソリューション提供可能</li> <li>■ KITTEの観光案内所での発信、観光プラットフォーム構築、チケット販売連携</li> <li>■ 千葉駅と海浜幕張駅の観光情報センターでの案内</li> <li>■ 幕張豊砂エリアに案内看板を設置し、駅前の既存案内板・駅構内・各集客施設・交通拠点にMaaSアプリの案内を追加</li> <li>■ 海浜幕張駅構内・電車内でのMaaS PR施策を検討中。今後は他社とのコラボも検討</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前を歩いたり、交差点で立ち止まったり、銀行等で待っていたりするときMaaSの案内に気づき、MaaSを利用</li> </ul>	<b>協力体制</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期券発売所でのチラシ設置やセット券のお知らせ</li> <li>■ 駅構内でのポスター掲示やJRのイベント時にMaaSを周知</li> <li>■ 商業施設、ドコモショップでの宣伝</li> <li>■ 公共施設での周知</li> <li>■ SNS等での情報発信</li> <li>■ 千葉市イベント時に宣伝</li> </ul>				<p>(各社発表より)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駅前や駅構内、バス広告、バス停、交差点周辺の看板、サイネージ、大型ビジョン、金融機関等でMaaSを案内</li> <li>■ 日常的に何度もMaaSの案内を見ることで当たり前のように浸透してもらう</li> <li>■ 動画等を配信することでMaaSのイメージを理解してもらう、操作方法なども体感してもらう</li> </ul>					

## 今年度PTの振り返り

### 第3回PTでの各社発表内容とPT内で出た意見は以下の通り

	企業名	発表内容	PT内で出た意見
A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ JR駅構内広報について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 他社と垣根を超えた連携・コラボをしていくことが必要</li> <li>➢ 社内で広告費用をかけることができるか決めるために、広告効果がある程度判明すれば参画しやすい</li> <li>➢ 鉄道会社として持っている駅やバスとのつなぎは必須</li> <li>➢ アナログ+デジタルで戦略的に発信していくことが必要</li> </ul> </li> </ul>
	京成電鉄株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	
	長谷川工業株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	
	京成バス株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	
	株式会社幕張メッセ	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	
	シャープ株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内	

	企業名	発表内容	PT内で出た意見
MaaSアプリと連携した認知獲得施策	株式会社ヴァル研究所	C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ MaaSと新駅開業の連携について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 開業という注目度が高いタイミングに合わせて施策を打つべき</li> <li>➢ 会社横断的に新駅開業を記念した共通のロゴを使用することで、一体感を持って盛り上げられる</li> </ul> </li> <li>■ MaaSロゴについて                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ MaaSのロゴやシンボルとして、各社が使えるものをつくりたい</li> </ul> </li> </ul>
	小田急電鉄株式会社	その他:データ基盤MaaSJAPANのご提供	
	イオンモール株式会社	A:街全体で連携してMaaSをアナログに案内 C:幕張新都心の既存コンテンツを活用したMaaS案内	
	株式会社建設技術研究所	その他:MaaS領域での貢献範囲や事例など	
	東京海上日動火災保険株式会社	その他:MaaS領域での貢献範囲や事例など	
	株式会社千葉ステーションビル	D:イベント連動のMaaS案内	

## MaaSプラットフォームPT

第4回PT以降の流れは以下のとおりを予定

第1～2回PT

第3回PT

年末～年明け

第4回PT

次年度以降

これまで議論した  
4つのMaaS  
認知獲得施策案

グループワークで  
施策案を整理

これまで議論した  
4つのMaaS  
認知獲得施策案

施策案の拡充

各社様から  
挙げた回遊性  
向上施策案

取り組みたい内容を発表



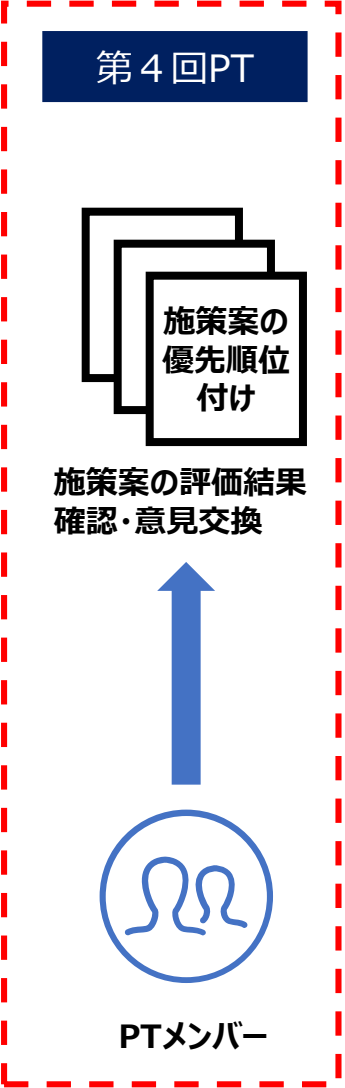
PTメンバー

これまで議論した  
4つのMaaS  
認知獲得施策案

施策案の評価



PTメンバー



施策案の  
優先順位  
付け

施策案の評価結果  
確認・意見交換



PTメンバー

施策

施策の着手



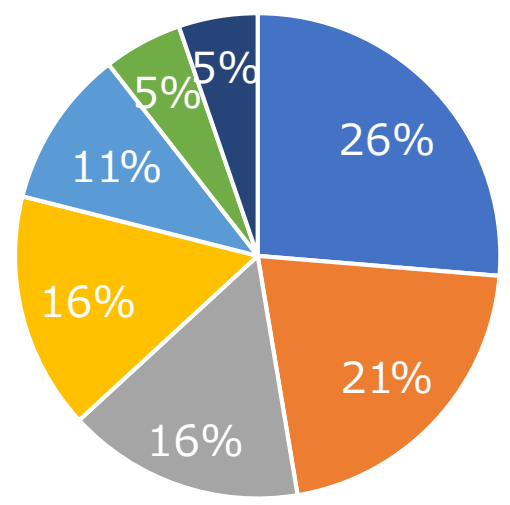
実施プレイヤー



## アンケート結果概要(1/4)

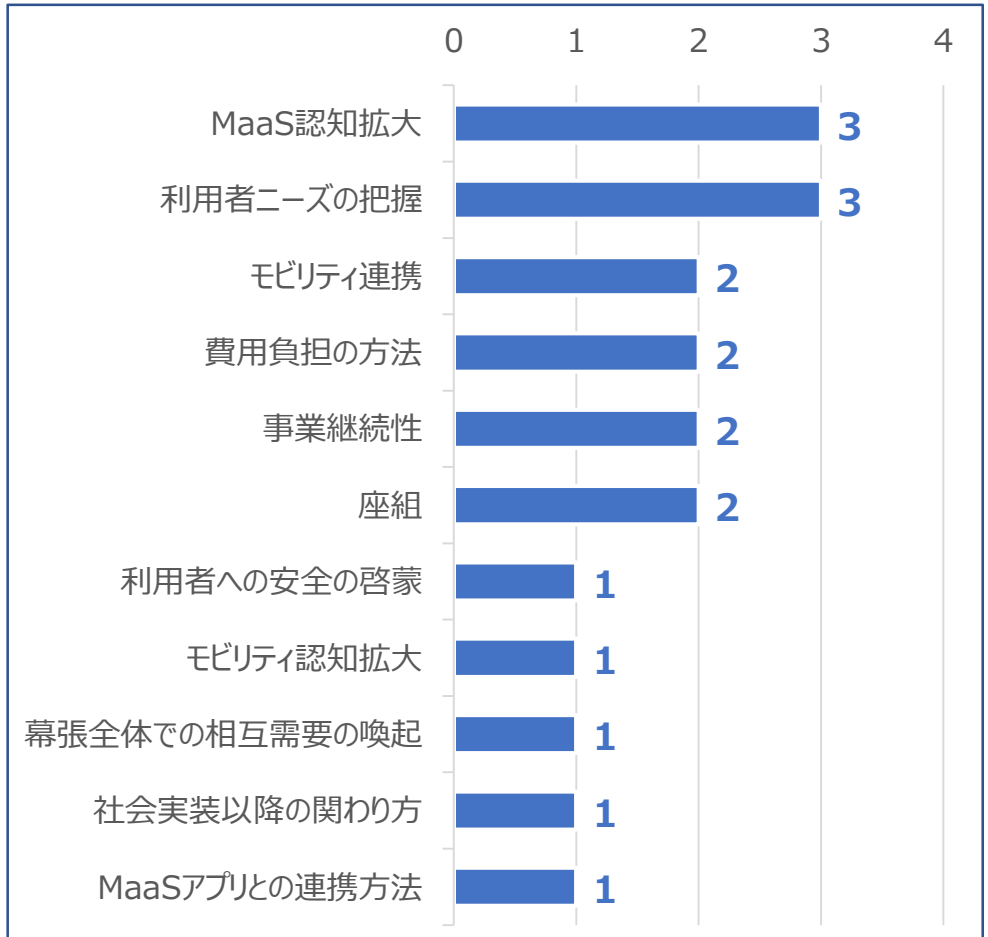
幕張新都心版MaaSによって得られる効果や期待、実装にあたっての課題に関するアンケート結果概要は以下の通り

### 幕張新都心版MaaSによって得られる効果や期待



- 街全体の経済活性化
- モビリティ利用の活性化
- MaaS実証、実導入への参加実績
- 自社店舗の利用者増加
- 自社店舗の利用満足度向上
- 自社ブランドの向上
- データの利活用

### 現状の幕張新都心版MaaS実装にあたっての課題



## アンケート結果概要(2/4)

来年度取り組む内容に関するアンケート結果概要は以下の通り（回答は16社）

来年度にコンソーシアムで取り組むべき、 討議すべきこと(複数回答可)	回答数
①住民・来訪者のMaaSに対するニーズ確認	9
②域内企業（コンソーシアム外を含む）の MaaSに対するニーズ確認	7
③MaaSの目標・目的	5
④その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>域内企業の相互情報開示（客層等）</li> <li>MaaSの事業スキームについて</li> <li>幕張エリアにおける既存アセット及び千葉市構想と、MaaSとの相乗効果をどう出すか</li> </ul>

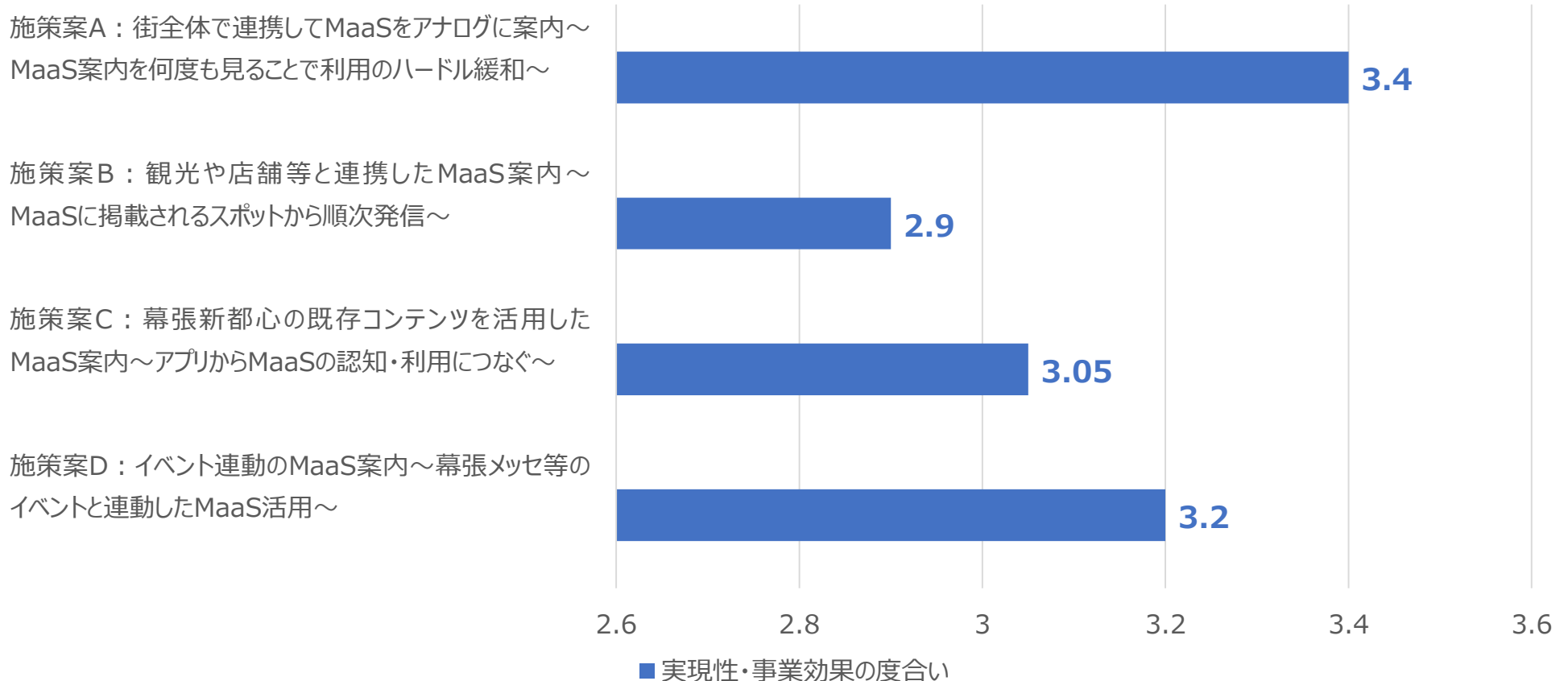
- 住民や来訪者がどのようなMaaSを求めているのか、MaaSにどの程度の需要があるのかといった現状分析が足りないと感じる
- 各エリアで各企業が本事業に参画する目的が異なる印象があるため、整理した上でどこに重点を置き進めるかが重要だ

等

## アンケート結果概要(3/4)

**施策案（A～D）の実現性、事業効果**に関するアンケート結果概要は以下の通り（回答は16社）

各回答に点数（実現性・事業効果がとても高い5点～とても低い1点）をつけ、施策案ごとに算出した平均点を比較した



## 来年度取り組む施策

PTアンケートの結果、「施策A」を軸とした取組みが回遊性向上に最も有効と評価

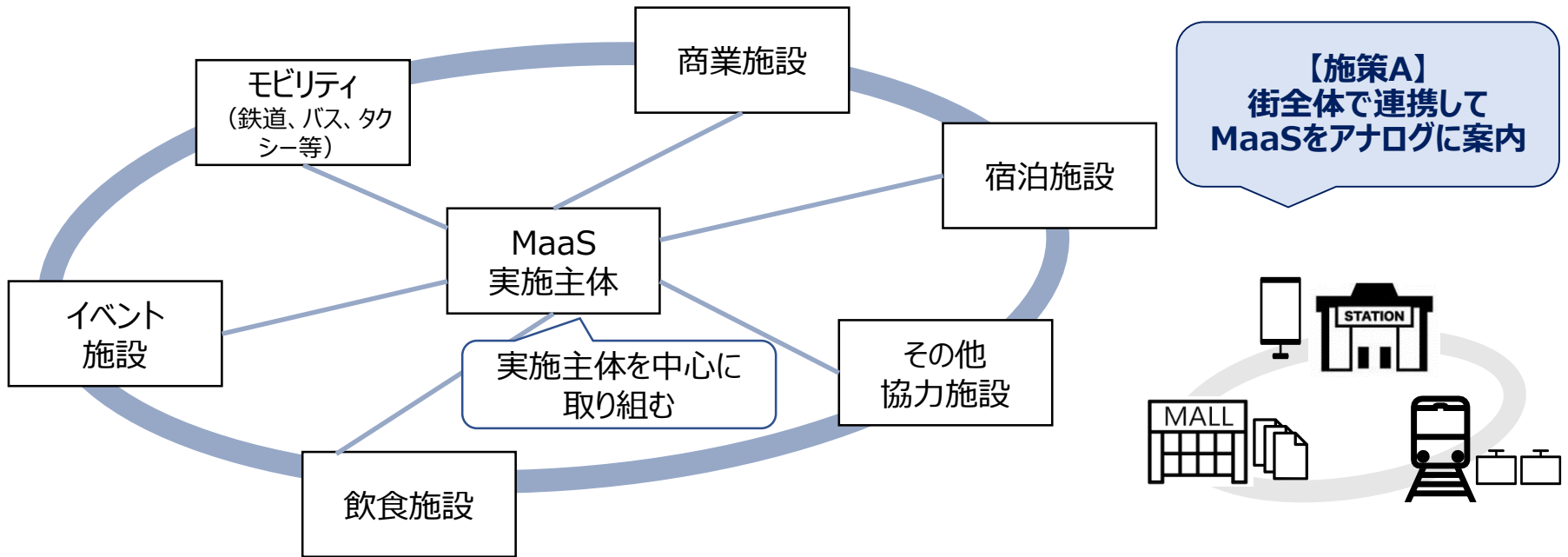
来年度  
目標

- 実施主体(リーダー又は共同事業体)を筆頭に、関係各社と横連携できる仕組みの構築

来年度  
体制

- MaaSの社会実装に合わせて「期間限定」で体制 (PT) を構築し、広範囲にアナログ周知に取り組む
- アナログ周知による広告効果等を分析した上で、効果的・効率的なアナログ周知方法を選定し、「中長期的な体制」の構築も視野に入れる

体制図  
(案)



## アンケート結果概要(4/4)

PTの体制に関するアンケート結果概要は以下の通り（回答は20社）

MaaSプラットフォームPTの体制	回答数
①現状の体制のままがよい	5
②体制を変えた方がよい	10
その他	プラットフォームである docomo様がより具体的なビジョンを見せて頂けると各企業の参加意欲も向上すると思われる

- まだ正解に近い内容にも近づいていないと思う部分もあり、現在のPT内容で十分と考える
- 論議を行う少数座組でのコア会、多くの企業向けの情報伝達の場合である分科会のように頻度・目的・趣旨を分けて実施する方が参加者目線では趣旨・目的が明確で良いと思う
- 来年度のMaaS実装に向け、MaaS機能拡張に関連する体制で進めていくことが望ましい

等

## コンソーシアム全体の結果

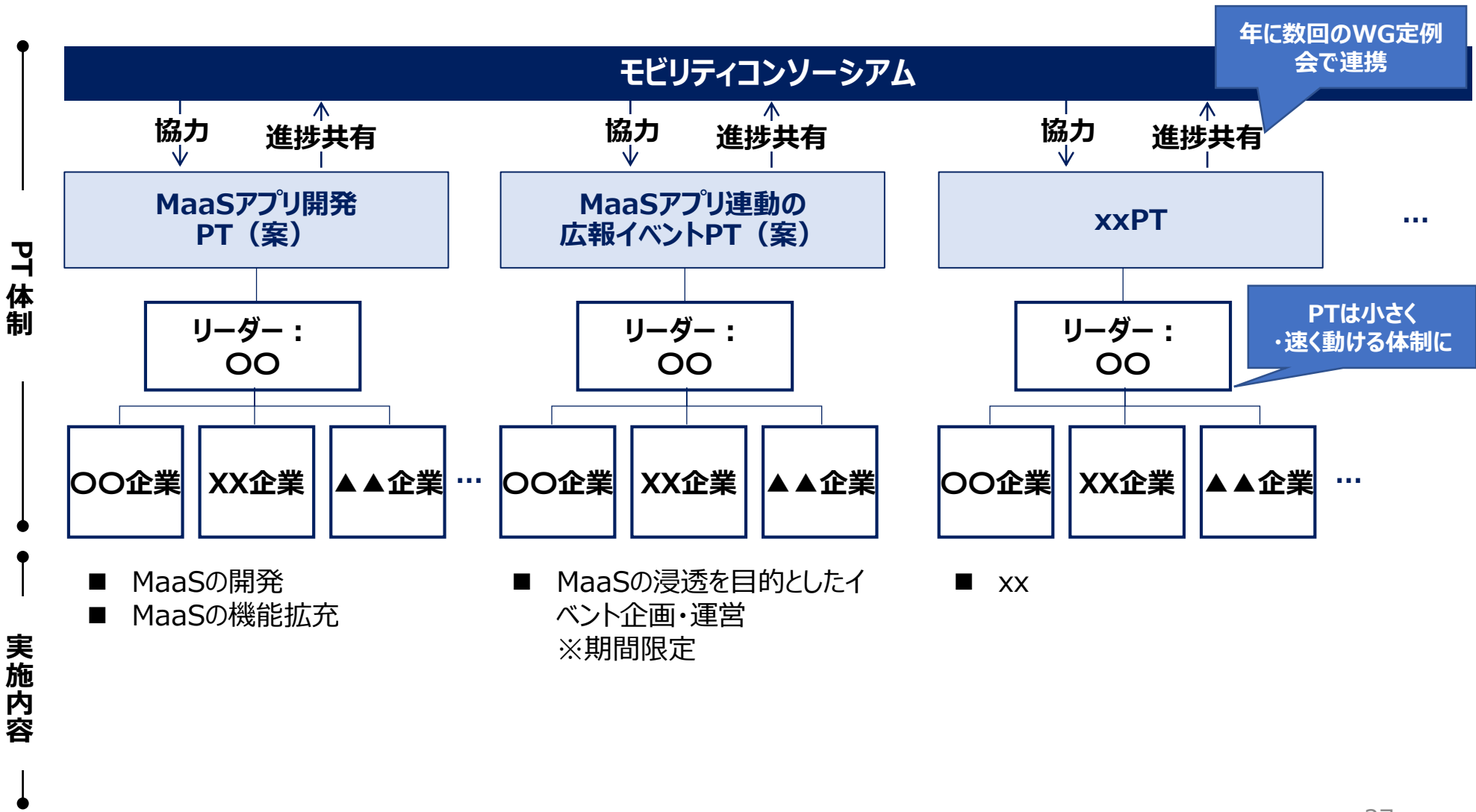
その他3PTの体制	回答数
①現状の体制のままがよい	19
②体制を変えた方がよい	31
③その他	4

- 今年度の結果を踏まえて、来年度の在り方（回数、座組等々）を見直した方がよい
- 具体的に取り組みたい目的の方と情報収集、人脈形成目的の方もいらっしゃると思いますので、目的に合った体制と構成が良い
- 各PTの課題に対する施策に重なる部分も多く出てきているので、PTの再編成を検討することが望ましい

等

## 来年度の体制案

来年度は具体的事案に対して、実施主体（リーダー）を筆頭に、各PT2~5社程度で素早く動ける体制を実現。コンソ会員の皆様とは適宜連携。



## 来年度のPTで取り組む内容や体制について

次に、グループワークに移ります

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

## グループワーク

本日のグループワークの流れは以下の通り

### ワークの 目的

アンケート結果や来年度の方針を踏まえ、来年度のPTで取り組むべき内容や体制について検討する

### ワークの 進め方

- 質疑応答
- 来年度の体制について討議
  - アンケート結果を踏まえた実施体制へのご意見（コンソの体制、協力体制、外部の巻き込みなど）
- 来年度検討するテーマに対する意見交換
  - アンケート結果を踏まえた施策へのご意見（座組、企画内容等）
  - 取り扱いたいテーマ、立ち上げたいPTテーマ（前回発表内容等を踏まえ）
  - 参加したいPTについて

30分



## 来年度のPTで取り組む内容や体制について

最後に、各グループから全体共有を行います

	アジェンダ	発表者	時間 (90分)
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	10分
10:10-	<b>今年度MaaS実証実験及び来年度MaaS方向性について</b>		
	今年度MaaS実証実験の進捗及び来年度の方向性について共有	NTTドコモ様	20分
	質疑応答	-	5分
10:35-	<b>来年度のPTで取り組む内容や体制について</b>		
	今年度PTの振り返りとアンケート結果の共有	事務局 (千葉市)	15分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	-	10分

# 事務局よりアナウンス

## アナウンス

事務局からのアナウンスは以下の通り

### 1. 第3回横連携WG

- 2月28日（火）15：30～16：30を予定（オンライン開催）

### 2. 第5回総会

- 日時：3月10日（金）14:30～15:30
- 場所：千葉市役所新庁舎（高層棟2階）

### 3. その他

- 2023年度コンソーシアム運営体制については、第5回総会にて決定後、正式にアナウンスさせていただきます

「学」  
について

IMAGE  
NOTE

# 令和4年度 モビリティコンソーシアム

ありがとうございました！

MAKUHARI  
NEW URBAN  
CENTER

以上